

学科名	一級自動車科				
科目名	サービス・マネジメント				
履修年次	4年次	履修学期	8月～10月	授業形態	実習
教育時間数	160時間				
単位時間	(サービス・マネジメント、体験実習)10単位				
担当教員		実務経験			
目的	整備体験、CS活動、企業の環境と安全を学び、 企業人としての行動力及び思考力を身に付ける目的				
到達目標	社会人としての自覚が持てる 接客、礼儀、マナーが出来る				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容				時間数
	導入教育 企業組織と命令系統				16
	会社各部署の業務内容、人員配置、整備工場の設備等を知る				4
	CS活動				4
	CS活動の実際を知る、挨拶				
	電話対応、顧客対応				16
	整備体験				72
	基本的な整備体験				
	部品の供給体制				
	車両受け入れから納車までの流れ				
	高能率作業				8
	整備料金算定				
見積書作成				24	
有難度整備作業					
新技術への対応				16	
企業の環境と安全					
整備工場の維持管理手法、環境、安全				160	
使用教科書					
成績評価の方法	A : 100~80 B:79~60 C:59~50 (合格) D:49以下 (不合格)				

学科名	一級自動車科				
科目名	体験実習（インターンシップ）				
履修年次	4年次	履修学期	8月～10月	授業形態	実習
教育時間数	140時間				
単位時間	（自動車検査作業、評価実習）10単位				
担当教員		実務経験			
目的	各企業様と連携し、実際の現場で、整備体験、CS活動、企業の環境と安全を学び、企業人としての行動力及び思考力を身に付ける目的				
到達目標	社会人としての自覚が持てる 接客、礼儀、マナーが出来る				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容				時間数
	導入教育 企業組織と命令系統				8
	会社各部署の業務内容、人員配置、整備工場の設備等を知る				8
	CS活動				4
	CS活動の実際を知る、挨拶				
	電話対応、顧客対応				16
	整備体験				72
	基本的な整備体験				
	部品の供給体制				
	車両受け入れから納車までの流れ				
	高能率作業				8
	整備料金算定				
見積書作成				16	
有難度整備作業					
新技術への対応				8	
企業の環境と安全					
整備工場の維持管理手法、環境、安全				8	
					140
使用教科書					
成績評価の方法	A：100～80 B:79～60 C:59～50（合格） D:49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科				
科目名	評価実習（点検整備）				
履修年次	4年次	履修学期	4月～7月、11月～1月	授業形態	実習
教育時間数	390時間				
単位時間	13単位				
担当教員	小野寺 敬 司・山 本 裕 貴・阿 部 淳・上 杉 裕 紀・大 塚 剛				
実務経験	全員が自動車関連会社にて勤務し、メカニックの経験がある。				
目的	実車やベンチエンジンを用いて、電気回路の基礎を学ぶ				
到達目標	デジタルサーキットテストの使用ができ、電気回路の点検ができる				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容			時間数	
	点検整備				
	電気回路点検、断線短絡点検			63	
	各センサ（バキューム、水温等）点検方法（ECU良否判定含む）			63	
	インジェクタ、IGSVの波形読み取り（オシロスコープ使用）			63	
	エンジンの各制御について			63	
	電子制御AT・ABS各センサ、アクチュエータ点検方法			88	
	電子制御PS各センサ、アクチュエータ点検方法			42	
前期期末実習試験・後期期末実習試験			8		
			390		
使用教科書	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置				
成績評価の方法	前期期末試験・後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科				
科目名	評価実習（故障探究）				
履修年次	4年次	履修学期	4月～7月、11月～1月	授業形態	実習
教育時間数	74時間				
単位時間	2単位				
担当教員	小野寺 敬 司・山 本 裕 貴・阿 部 淳・上 杉 裕 紀・大 塚 剛				
実務経験	全員が自動車関連会社にて勤務し、メカニックの経験がある。				
目的	実車やベンチエンジンを用いて、電子制御装置の故障探究技術を身に付ける				
到達目標	電子制御装置の故障探究ができる				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容			時間数	
	故障探究				
	AT・PS・ABSダイアグコードの確認			7	
	オートエアコンの診断基礎と応用学習			7	
	ダイアグコードを持つ診断と持たない診断			7	
	テスタによる故障探究			12	
	論理、リニア、周波数、その他のセンサの故障探究			21	
	燃料系統（インジェクタ、フューエルポンプ）故障探究			7	
	コントロールユニット故障探究			7	
前期期末実習試験・後期期末実習試験			6		
			74		
使用教科書	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置				
成績評価の方法	前期期末試験・後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科				
科目名	評価実習（総合診断）				
履修年次	4年次	履修学期	4月～7月、11月～1月	授業形態	実習
教育時間数	30時間				
単位時間	2単位				
担当教員	小野寺 敬 司・山 本 裕 貴・阿 部 淳・上 杉 裕 紀・大 塚 剛				
実務経験	全員が自動車関連会社にて勤務し、メカニックの経験がある。				
目的	実車やベンチエンジンを用いて、総合診断では即戦力となりうる実践的な技術力を身に付ける				
到達目標	外部診断器及び振動騒音分析器の使用ができる				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容			時間数	
	総合診断（総合的な復習含む）				
	外部診断器の取り扱い			2	
	エンジン総合診断（出力不足、アイドル不調、エンジン始動不良等）			7	
	シャシ総合診断（加速不良、変速不良、ハンドル重い等）			5	
	振動分析器の取り扱い			5	
	タイヤホイール振動、プロペラシャフト振動、シェイク				
	こもり音、ビート音、エンジントルク変動、シミール測定			5	
	前期期末実習試験・後期期末実習試験			6	
				30	
使用教科書	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置				
成績評価の方法	前期期末試験・後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				